

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月25日作成

事業番号	100	担当課等	議会事務局							
事務事業名	議会報発行事業									
予算科目コード	会計	01	款	01	項	01	目	01	事業開始年度	平成 4 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021プラン 前期基本計画	#N/A								
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
							○		
目的	議会活動について町民に広く知っていただくことを目的に平成4年6月号から発行。								
対象	町民								
内容	年4回、定例会開催前に新聞折り込み配布及び防災コミュニティセンター、図書館、美術館等町の施設や町内のコンビニエンスストア等へ配架。発行予定部数は1回当たり10,000部。掲載内容は前回定例会での審議等について。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	1,527,760	1,693,979	1,873,000	
コスト 人件費	常勤職員	618,620	579,560		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	618,620	579,560		
総事業費	2,146,380	2,283,639	2,452,560		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	2,146,380	2,283,639	2,452,560	
財源合計	2,146,380	2,283,639	2,452,560		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
議会報発行回数	事業実施回数	回	4	4	4
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
議会報配布部数 (新聞折込/1回当たり)	町民周知率	部	8,000	8,000	8,000

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 身近で開かれた議会を実現するため、傍聴に来られない方にも議会活動を知っていただく機会を確保しておく必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 紙媒体を各戸配付(新聞折込)することで、傍聴に来られない方や議会活動に関心が低い方へも定期的に周知できている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 各定例会や委員会での審議内容について簡潔にまとめ、定期的に発行することで、議会活動の要点を周知できている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 新聞折込、公共・民間施設への配架、町ホームページ上での公開等により、誰でも気軽に読むことができる環境が整備されている。
令和2年度までの自己評価または改善点	新聞購読世帯数の減少に伴い、新聞折込部数と公共施設での配架部数の見直しを行い、新たに町内民間施設(マンション等の管理事務所)へ配架依頼を行った。また町ホームページへの電子版掲載やスマホアプリを用いて容易に閲覧できることなど、広く町民に周知するよう努めている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	議会だより編集委員会で編集したのち、印刷・発行及び新聞折込は既に委託としている。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	形態を、右開きから左開きに、縦書きから横書きに変更して、読みやすくした。また、町民に関心をもっていただけるよう、議会報の題字を小・中学生に応募依頼し、11月発行の議会ゆがわらから採用した。	
令和4年度以降の方向性	町内民間施設の配架場所の増設等についてさらに検討したい。掲載内容についても、町民が関心を持てるように工夫したい。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	今後も定期的に議会活動を町民に周知していくため、議会報を活用していきたい。
------	----------	---------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月25日作成

事業番号	120	担当課等	議会事務局							
事務事業名	議会会議録作成事業									
予算科目コード	会計	01	款	01	項	01	目	01	事業開始年度	平成 12 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021プラン 前期基本計画	#N/A								
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
							○		
目的	議会の議事内容を迅速に文章化し、広く町民に閲覧していただくことを目的に、平成12年度からインターネット上で公開								
対象	町民								
内容	本会議・委員会における議事内容を町ホームページに掲載								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)			
	事業費	1,798,472	1,891,300	1,867,000		
コスト 人件費	常勤職員	6,681,600	6,448,500	6,310,800		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	6,681,600	6,448,500	6,310,800		
	総事業費	8,480,072	8,339,800	8,177,800		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	8,480,072	8,339,800	8,177,800		
	財源合計	8,480,072	8,339,800	8,177,800		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値	
年間会議数	テープ起こし依頼頻度	回	77	109		
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値	
年間掲載本数	新しい議事録の掲載本数	本	95	102	100	

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	開かれた議会を実現し、町民の町政への信頼を増すためにも、実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	3	インターネット環境があればどこでも利用できる、また 字句検索等もできるため、利便性は向上しているが、 実際に利用している人数の記録を取っていないため、 費用対効果は今後調査が必要 傍聴に来られない方が過去の審議内容を手軽に 調べ、閲覧することができる環境が整えられたが、 実際の開催日からのタイムラグが大きい ため、掲載までの期間の短縮が求められている
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	インターネット環境さえあれば、町内外問わず、いつでもどこでも閲覧が可能。
令和2年度までの自己評価または改善点	平成21年1月から、サーバーの賃借を含むASP方式を導入したことで、掲載・修正等にかかっていた時間を大幅にカットした。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 音声データからの反訳及び会議録検索システムへのデータ搭載について既に委託にて対応済。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	事務局業務内における会議録作成業務の占める割合を見直し、会議録掲載までの期間を短縮し、より迅速に議事内容を公開することで、タイムリーで開かれた議会を目指す。
令和4年度以降の方向性	閲覧者数等の数字を統計的に把握し、町民への広報の必要性等について再検討を図る。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	事務局内での作業期間短縮のための工程の見直しは必要だが、システムとしては現状維持で公開していくことが望ましい。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月25日作成

事業番号	130	担当課等	議会事務局							
事務事業名	議会映像テレビ中継システム整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	01	項	01	目	01	事業開始年度	平成 22 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021プラン 前期基本計画	#N/A								
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	町民に「身近に感じる議会」として情報発信することを目的とし、平成22年度から導入。								
対象	町民								
内容	議場内に映像配信カメラを設置し、住民ホールで議会映像を配信する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	438,501	443,810	445,000		
	常勤職員	433,034	560,177	434,670		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	433,034	560,177	434,670		
	総事業費	871,535	1,003,987	879,670		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	871,535	1,003,987	879,670		
	財源合計	871,535	1,003,987	879,670		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
本会議日数		配信日数	日	14	19	15
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 身近な開かれた議会を実現し、町民への町政への信頼を増すためにも、実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	3 より気軽に本会議を傍聴することができるようになったが、ライブ映像のみの配信となっており、実際に利用している人数に対する費用対効果は調査が必要。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 傍聴席までの階段を上ることができない方や、傍聴の手続きを取るほどの関心がない方にも気軽に議会活動に触れられる環境が整えられた。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3 誰でも出入り可能な住民ホールで配信しており、夜場を訪れる方であれば誰でも見ることができる。しかし、平日の役場に来られない方もいるため、現状ではすべての町民に受益の機会が均等とは言えない。
令和2年度までの自己評価または改善点	令和2年12月議会からYouTubeで録画映像の配信を始めた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	本会議開催中の映像配信に係るカメラ切り替えの作業のため、委託等は不向きと考える。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	機器について、平成28年1月で当初の5年リースが満了したため、以降は単年度毎の再リースで対応している。	
令和4年度以降の方向性	より身近で開かれた議会を実現するため、町役場のみでのライブ配信に留まらず、ライブ映像の配信について環境の整備を引き続き検討していく。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	インターネット中継(ライブ映像の配信)の導入の時期、内容等の検討が必要である。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月25日作成

事業番号	140	担当課等	議会事務局							
事務事業名	政治活動関連事業(名称変更)									
予算科目コード	会計	01	款	01	項	01	目	01	事業開始年度	令和 1 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021プラン 前期基本計画	#N/A								
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
						○		○	
目的	議会本会議・各委員会で使用する会議資料の印刷・製本に係る手間及びコストを削減し、資料の差し替え等にも迅速に対応するため、タブレット端末を令和2年1月に導入し、3月定例会で試験的に運用した。同年4月からは本格的に運用を開始した。								
対象	議員、事務局職員								
内容	タブレット端末を導入し、ペーパーレスによる会議を実施。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	555,547	1,030,071	1,625,000	
コスト 人件費	常勤職員	742,400	716,500	701,200	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	742,400	716,500	701,200	
総事業費	1,297,947	1,746,571	2,326,200		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源	64,350	265,650	257,400	
	一般財源	1,233,597	1,480,921	2,068,800	
財源合計	1,297,947	1,746,571	2,326,200		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
タブレット導入台数	ペーパーレスによる会議を実施	台	16	16	16
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	議会運営のため
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	今までは、議案を自宅の配付していたので、手間と時間の削減が図られた。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	委員会での資料が当日配布だったものが事前配布となったため、より一層慎重審議されるようになった。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	町側職員が使用していないため、完全なペーパーレスになっていない。

令和2年度までの自己評価または改善点	令和2年1月から導入し、同年4月から本格運用を始めた。12月からタブレット端末を使用しラインワークスによる連絡を開始し、令和3年3月末をもって併用していたファックスでの連絡をやめて、事務の簡素化が図られた。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	タブレットの使用に関する要綱等に、今後改正が必要と思われる。また、職員がタブレット導入していないため、完全なペーパーレス会議にはならない。
令和4年度以降の方向性	タブレットの機能を、十分に活用するよう今後も検討を続ける。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	行政側のタブレットの配布等を考えなければ、ペーパーレスにならないため、今後検討していく。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--